



2019年3月14日

各 位

会社名 株式会社アカツキ
代表者名 代表取締役社長 塩田 元規
(コード番号 3932 東証第一部)
問合せ先 取締役経営企画部担当 小川 智也
(TEL 03-5422-7757)

通期連結業績予想及び特別損失等の計上に関するお知らせ

当社は、2019年3月14日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年3月期（2018年4月1日～2019年3月31日）の通期連結業績予想について、修正することといたしましたので、お知らせいたします。

また、2019年3月期におきまして、以下のとおり、特別損失等を計上する見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	27,500	13,000	12,900	7,000	505.81
増減額 (B—A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
前期連結実績 (2018年3月期)	21,926	10,534	10,475	6,084	445.24

※上記の通期連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により、上記予想数値とは異なる可能性があります。

修正の理由

当社グループは、モバイルゲーム事業・ライブエクスペリエンス事業の短期的な事業環境が激しく変化する不確定要素が多いことに加え、新規領域で様々なチャレンジを実施して行く方針であり、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であったため開示しない方針とさせていただいておりましたが、期末日までの期間等を鑑み、適正かつ合理的な数値の算出が可能となったため、通期の連結業績予想（2019年3月期）について開示させていただきます。

連結売上高につきましては、モバイルゲーム事業において、既存タイトルの堅実な運用と当期にリリースした新規タイトルが好調に推移したことにより、前期連結実績（2018年3月期）と比較して大幅な増収となる見込みです。

また、連結営業利益及び連結経常利益につきましては、新規ゲーム開発の更なる強化及びライブエクスペリエンス事業の成長に向けた積極的な投資の他、新規領域での様々なチャレンジによる追加投資の影響があったものの、連結売上高の大幅な増収見込みによる影響を受けて、前期連結実績と比較して大幅な増益となる見込みです。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、「2. 連結決算における特別損失の計上」を見込んでいたものの、連結営業経常利益の大幅な増益見込みによる影響を受けて、前期連結実績と比較して大幅な増益となる見込みです。

2. 連結決算における特別損失の計上

当社グループの更なる成長のためには、限られた経営資源を最適化し、より効果的かつ効率的に事業を進める必要があります。そのため、通期の連結業績の見通しを慎重に検討し、財務の健全性を確保する観点から、2019年3月期の連結決算において特別損失を1,355百万円の計上する見込みとなりました。

主な内容は、回収可能価額を保守的に見込んだことによる関係会社に係るのれん及び有形固定資産を対象とした減損損失、当社が保有する投資有価証券についての評価損となります。

※上記の特別損失の計上額は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき見積もった金額であり、実際の金額は上記と異なる可能性があります。

3. 個別決算における営業外費用及び特別損失の計上

連結決算において上記特別損失を計上することに伴い、個別決算において財務の健全性確保の観点から、主に関係会社株式及び貸付金の回収可能価額を保守的に見込んだ結果、営業外費用及び特別損失を2,032百万円計上する見込みとなりました。

※上記の特別損失の計上額は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき見積もった金額であり、実際の金額は上記と異なる可能性があります。

以 上